

図書館だより



No.184

2012(平成24年)10月5日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

Tel 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<http://www.library.fks.ed.jp/>



毎年10月27日～11月9日は、読書週間です。2012年・第66回読書週間の標語(社団法人読書推進運動協議会)は「ホントノキズナ」に決定しました。涼しくなったこの機会に本との絆を図書館で深めてみませんか?

展示 福島の新聞



展示期間 平成24年10月5日(金)～平成24年12月5日(水)

福島県内では、明治以降、様々な新聞が発行されてきました。福島県立図書館では、それらの新聞を収集・保存し、原紙、縮刷版のほか、マイクロフィルム、デジタル資料等にして、様々な形で皆様に提供しています。

今回は、当館所蔵の新聞資料を、福島県内の新聞の歴史にあわせ展示コーナー(正面玄関左手)にてご紹介いたします。

講演会のご案内

福島民友新聞社論説委員・紺野滋氏による講演会、『模擬原爆と福島』を開催します。太平洋戦争時、福島市渡利に落とされたという原爆の正体と、このたびの原爆事故とのかかわりについて講演します。

■講演 「模擬原爆と福島」 講師 紺野滋氏(福島民友新聞社 論説委員)

■日時 平成24年10月14日(日) 13:30～15:30
(13:00～受付開始)

■場所 福島県立図書館 第一研修室

※参加費は無料で、どなたでも参加できます。(事前申込不要)

蔵書検索機の使い方 講座

自分で本をさがしてみよう!!

毎月、第3木曜日に『蔵書検索機の使い方講座』を開催しています。蔵書検索機は使い方のコツさえつかめば、自力で読みたい本を簡単に見つけ出すことができます。ぜひ、この機会に蔵書検索機の使い方を覚えてみませんか?

■日時 平成24年10月18日、11月15日、12月20日
平成25年 1月17日

■申込 貸出・登録カウンター(電話可)

大会開催のご案内

平成24年度 北日本図書館連盟研究協議会・第10回福島県図書館研究集会

大会テーマ 「次の一步を踏み出すために～図書館でなにができるか～」

■日時 平成24年11月8日(木)・9日(金)

■対象 公共図書館及び関係機関の職員、学校図書館及び教育委員会職員、図書館協議会委員、その他図書館活動に関心のある方等

■場所 福島県立図書館 講堂ほか(※参加費2000円です)

館内展示

館内各所で時事に併せ、本の展示・紹介をしています。

◆日中国民交流友好年
日中国交正常化40周年
期間 展示中～平成24年10月31日(水)まで
場所 貸出カウンター付近

◆シニアライフ
期間 平成24年10月5日(金)～12月5日(水)
場所 貸出カウンター付近

◆紅葉を歩こう
期間 平成24年10月5日(金)～12月5日(水)
場所 調査相談カウンター付近

◆心と体
期間 展示中～12月5日(水)
場所 ブラウジングコーナー

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お勧めの新着資料をご紹介します。

人文・自然

『昭和が生んだ日本語 戦前戦中の庶民のこぼれ』
遠藤織枝／著 大修館書店
2012. 6 810. 26/円 126/

ことばは変化していくものであるがゆえに、世相を反映する鏡とも言えます。話しことばから見る人間関係や広告宣伝文の表現の現代とは異なる特徴、外来語の定着に至るまでの日本語との攻防の経過などについて、当時の新聞や幅広い読者層を誇っていた雑誌での使用例を調査し分析しています。「日本」の読み方に「ニホン」と「ニッポン」がある理由も分かります。

ことばを介して少し昔の日本、昭和という時代を懐古してみたいかがでしょうか。

『建物と日本人 移ろいゆく物語』
共同通信社取材班／編 東京書籍
2012. 6 520. 4/円 126/

ユニークな切り口で読みごたえのある建物探訪録。約 50 もの建物や場所をとりあげ、設立時の歴史背景や社会情勢にふれながら、過去から現在までその場所に関わってきた人たちの営みをまとめています。

3.11 の津波に負けなかった「^{おがつすずり}雄勝 硯 伝統産業会館新館」(宮城) や、大間の原発予定地に建てられた「あさこはうす」(青森) の章もあります。

社会

『神楽 NC PHOTO BOOKS』
田中宏／写真と文 ニホンカメラ社
2012. 4 386. 81/円 124/

神楽とは、神を祭るときに奏する音楽や舞のこと。今では、国の重要無形文化財などに指定されているものもあります。

各地の神社で行われる民俗的な神楽は、地域ごとに多彩な発展をとげてきました。この本では、日本各地で行われてきた 48 の神楽を、豊富な写真と共に紹介しています。ひとつひとつ土地に根ざし、引き継がれてきた神楽の世界を、奥深く味わえる一冊です。

『1968 年 反乱のグローバリズム』
ノルベルト・フライ／著 みすず書房
2012. 4 377. 96/円 114/

1968 年。この年は、フランス・パリでの 5 月革命をはじめとし、複数の国で同時多発的に学生運動が起こった「特別な年」でした。アメリカ、ドイツ、日本、イタリア、オランダ、イギリス、そしてチェコ、ポーランド、東ドイツ……それぞれの運動は、形態は似ていながら、原因や動機は全くばらばらでした。

なぜこの年、いたるところで学生が反乱を起こしたのか？ 各国では何が起こっていたのか？ 詳細な分析を通し、世界史における「1968 年」を考察します。

雑誌・新聞

木の葉が色づく季節になりました。今回は当館で所蔵している2つの登山雑誌の新刊特集を紹介します。

『山と溪谷』 山と溪谷社 Z/786/Y1
* 10月号特集 絶品紅葉美山
* 9月号特集 知っていますか？山の「新常識」

『岳人』 東京新聞 Z/786/G3
* 10月号特集 2012年のリーダー考
* 9月号特集 テント縦走

2012年3月に亡くなった、思想家・詩人・評論家の吉本隆明さんについて多数特集が組まれました。

- 吉本隆明の思想
Z/105/G1『現代思想』
2012年7月臨時増刊号
- 吉本孝明に出会うために—吉本孝明追悼特集②
Z/911.5/G15『現代詩手帖』2012.7月号
- 吉本隆明
Z/911.5/G15『現代詩手帖』2012.5月号
- 追悼 吉本隆明
Z/051/S19『春秋』2012.6月号

地域

『ふるさと文学さんぽ 福島』
澤正宏／監修 大和書房
2012. 7 L918. 6/S4/2

この本には、“ほんとの空”で知られる、高村光太郎の「あどけない話」、蛙の詩人草野心平が故郷を詠んだ「磐城七浜」、野口英世の母・シカの「息子、英世への手紙」など、豊かな自然・歴史・文化に育まれた福島県ゆかりの文学21作品が収録されています。

これから秋が深まり、読書や行楽にピッタリのシーズンとなります。ふるさと・福島県の魅力が詰まった文学作品を楽しんだ後は、作品の舞台まで「文学さんぽ」に出かけてみてはいかがでしょうか。

『雑誌に見る東日本大震災(2011年) 震災はいかにして国民的災害になったか』 山本博之／監修 京都大学地域研究統合情報センター
2012. 3 LS369. 31/K24/1

東日本大震災の直後には、新聞やテレビ、ラジオなど、様々なメディアで震災情報が溢れ返りました。

その中でも「雑誌」は、高い公共性を求められる新聞などとは異なり、読者の関心が高い分野を独自の視点から掘り下げた記事を多く掲載してきました。

本資料は、震災直後の社会関心の変遷を色濃く反映した「雑誌」のタイトル及び目次の目録です。

本資料に掲載された雑誌の一部は当館でも閲覧できますので、どうぞご利用ください。